

～ Serving the Community and Supporting the YMCA since 1976 ～



# 埼玉ワイズメンズクラブ

Saitama Y's Men's Club

月間テーマ：地域奉仕 & Green Project

2024年  
3月



2023-24 年度 クラブテーマ「地域と繋がろう・地域に知らせよう」



3月16日の午後、浦和YMCAの教室に会員、「心のふるさと歌声集会」のメンバーや埼玉ワイズメンズクラブの現・元メンバーが閉館を前に思い出会に参集した。小谷総主事の感謝の挨拶をはさんで、スライドや動画が写す懐かしい顔や子供達の生き生きした写真を見ながら、参加者がそれぞれの思い出をシェアした。いつかこの仲間とまた会える日の来ることを信じた。 (浅羽 記)

## 今月の聖句

「わたしはブドウの木、あなたがたは枝です。人がわたしにとどまり、わたしもその人にとどまっているなら、その人は多くの実を結びます。わたしを離れてはあなたがたは何もすることができないのです。」

(ヨハネの福音書 15 章 5 節)

## 4月「心機一転」例会

日時：4月18日(土) 14時～16時

会場：未定

プログラム：今後の活動・拠点など

## 4月 夜談会

日時：4月8日(月) 午後6時～8時

会場：サイゼリア (浦和駅東口)

・気楽に知り合い見識を深める拓けた大人の会

### 思い出アルバム：その3（最終回）

浦和 YMCA では長い間多くの子ども、若者、シニアが活動だけでなく、「外国人 119 ネットワーク」はここに事務局を置いて地域の外国人に相談サービスを提供した。コロナ禍で休止した活動もあったが、子ども達の教室などは何とか持ちこたえた。職員やリーダーの信念と抵抗力に感謝したい。1、2月のブリテンにも思い出写真を掲載したが、本号では主にここ2年間ブリテンのコラム「YMCAの小窓から」にスタッフが提供してくれた写真から選んで掲載する。

ところで既に YMCA の再出発がささやかれ始めている。そもそも YMCA は人と人が同じ奉仕の思いから起こす運動であった。そのことを思い起こせば不思議ではない。いずれ YMCA の新しい写真がブリテンを飾る日が来ることを信じている。（写真提供：埼玉 YMCA・浅羽メン）



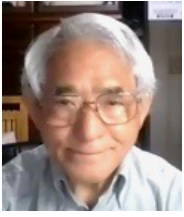
写真説明：[2022] 1) 4月新スタッフと。2) 6月相模原市でクローバーが農業体験 3) 7月飯能の名栗川広場にて 4) 10月川越市蓮馨寺「アースデイ」 5) 11月 チャリティランで浦和チーム優勝 [2023] 6) 1月新潟県南魚沼スキー 7) 2月東松山武蔵遣遥乗馬会 8) 4月土曜中高生クラス 9) クローバクラブ親子の会@所沢Yプール 10) ある日の中高生ライフスキルクラス [2024] 11) 2月YMCAでの最後の例会にてスタッフと一緒に。



## 思い出の浦和 YMCA

### ◆ 「さようなら埼玉 YMCA 浦和センター」

上松寛茂



埼玉 YMCA 浦和センターが 2024 年 3 月末でクローズされると聞いてそれは、それは衝撃的だった。ついにその日がやってきた。びっくり、悲しい、淋しいなどの感情を超越した何とも言えない感情がこみ上げてきた。台風、地震、津波が一緒くたにやって来て根こそぎ剥ぎ取られ“家なき子”になってしまった、そんな心境である。

とりわけ、新型コロナウイルス感染症拡大の埼玉 YMCA に対する打撃は屋台骨を揺るがす一つの要因になったことは誰の目にも明らか。職員、スタッフを批判する気持ちはさらさらしない。彼らの懸命に努力して取り組む姿勢に熱い視線を注いでもいた。本当にご苦労様でしたと心から労いたい。

埼玉ワイズメンズクラブは YMCA のサポータークラブであることを考えると、力足らずで申し訳ないような自己反省を迫られているような気がしてならない。YMCA 業務に差しさわりのないよう、ワイズメンはカリキュラムが薄い期日、時間帯に出入りするよう心掛けた。

2003 年発行の 30 年誌「SAITAMA YMCA～SINCE 1973～」によると、1973 年 2 月に大宮 YMCA の設立総会が開かれ、2 年後の 75 年 2 月に移転、浦和 YMCA が設立され、複数回の引っ越しを経て、浦和区常盤の JR 北浦和駅西口近くに落ち着き、50 年の歴史を刻んだ。

私が埼玉クラブに入会して約 20 年。当初、月例会は会員の小峰氏が経営する県庁隣りのビルで、心のふるさと歌声集会和わいわいパソコン教室は浦和センターで開催。例会はその後、浅羽会長の運営する浦和西高近くの「き咲きてらす」、夜談会は JR 浦和駅のレストランでそれぞれ行ってきた。浦和センターでの活動はコロナ禍で一時休会を余儀なくされたが、それまでの数々の思い出は尽きない。なにより職員との会話は楽しかった。他方毎月 1 日の浦和センターでの対面による早天祈祷会が復活できず、オンラインで継続しているのは悲しい。いつの日か、この地に YMCA センターが復活することを祈らざるを得ない。これまでの浦和センターでの活動に感謝、感謝、感謝。さようなら埼玉 YMCA 浦和センター。今後は所沢センターと川越センターのさらなる発展に尽くそう。❖

### ◆ 浦和 YMCA が蒔いたタネ

浅羽俊一郎

海外勤務の長かった私が浦和 YMCA と接点を持ったのは一時帰国の折、浦和区の両親宅に家族で居候し、駅のそばに YMCA があると知って遊びに行

ったのが最初。駅の東口の薬局の上にあったことを覚えている。

その後新座に落ち着き、栗原道子総主事の時分に国際協力委員や常議員ということでよく分からないなりに通い続け、職員や会員と徐々に親しくなった。後に牧師になられた故森田進氏が埼玉 YMCA は自前の施設を持たないユニークな YMCA だ、と自慢していたのを今もよく覚えている。

そう。50 年間浦和 YMCA は様々な活動の中で人と人が出会い、触れ合う中でそのスピリットを伝え広げ続けた。蒔かれた種々のタネは学校・家庭・職場で育ち、豊かに実っている。丁寧に見ない私たちが気づかないだけなのかもしれない。

いずれ備えられる園を待ちこがれつつ、今はここに植えるべき大切なタネを拾い集めていよう。❖

## 活動メモ

### ◆ 3 月夜談会

11 日夜、浦和サイゼリア。この夜も自由闊達に様々な話題が飛び交った。テーブルの折り鶴は義援金と一緒に堀和（はが）メンが能登半島地震被災者へ届ける。初参加の浅香氏（日本語ボランティア）と工藤氏（見沼田んぼボランティア）は浅羽の知り合い。閉会間際になって工藤氏と堀和メンが何か共通の話題で盛り上がっていた。天使の微笑む前でたく写真。（浅羽 記）



左より：大輪・上松・浅香・工藤・堀和・麻生・衣笠・浅羽（姓のみ・敬称略）

### ◆ 3 月「さらば浦和 Y」例会 (16 日) d

急遽開催日が決まった「浦和センター思い出会」の日時と会場がクラブの定例会と重なったので、思い出会を例会に充当させた。衣笠メンと小谷総主事がスライドと動画を披露してくれた。折々撮った写真がこういう時に役立つ。思い出会にはクラブの元メンバーの小林氏、宮原氏、そしてクラブの看板活動だった「こころのふるさと歌声集會」のかつての常連も大勢出席。（その後二次会へ）お陰さまで今月はジェンダー学習はお休みできた。（浅羽 記）

## ◆ 水上氏・長谷川氏 歓送会

21日の晩、YMCA 閉館を待って横浜 YMCA から2年間の出向で浦和 YMCA と川越 YMCA で働かれた水上真帆さんと長谷川洋輔さんへの感謝を込めて小さな宴を北浦和駅東口の「大喜利」で催した。最近メンは YMCA に行く用事もあまりない上、コ



ロナ禍で活動も休止になり、職員と交流することがなかった。いつもならば自然とお互いの顔を覚え、親しくしゃべれるはずの関係が作れなかった。

歓送会には上松、浅羽、そして川越クラブからは吉野氏が出席。横浜 YMCA では役割分担が明白だったがここでは何でもこなすことになり、それが勉強になった、と言う二人。吉野メンが「カイゼン」を紹介したがこれからの仕事の参考になるお土産だ。

この日も閉館までリーダーたち数名が後片付けを手伝っていた。ワイズももう少し若ければ何か手伝えたはず。3月末まで働きづめのお二人には心から感謝し、これからのご活躍を祈る。(浅羽 記)



## YMCA の小窓から

埼玉ワイズは浦和 YMCA を応援しています。

### お別れの挨拶

浦和 YMCA 職員 水上真帆

2年間という時間は本当にあっという間に経ってしまいました。埼玉 YMCA への出向の話佐竹総主事からいただいたときには、本当に想定外のこと、びっくりしたことをよく覚えています。同じ YMCA とはいえ、大きく環境が変わることに不安もありましたが、みなさんが温かく受け入れてくださったことで、埼玉 Y での働きを進めることができました。この2年間の働きの中で埼玉 YMCA、横浜 YMCA それぞれの良い面を知ることができたことは大変勉強になりました。

ワイズのみなさまからもいつも励ましのお言葉をいただいたことに感謝しております。YMCA をサポートして下さるみなさまと直接関わらせていただくということは、これまであまり経験のないことでしたので、貴重な経験となりました。

4月からは横浜北 YMCA (菊名)にて、オルタナティブ事業部の担当をすることになりました。またみなさまとお会いできる日を楽しみにしております。

2年間さまざまなサポートをしていただき、ありがとうございました。❖



## 仲間からの郵便



### ◆ 浅羽メン

身体が段々言うことを聞かなくなり、自分も着実に翁(おきな)化しつつあるのは分かる。なのにだ。ワイズや地域活動を通じて新しい人、特に素敵だなどという人と出会うと、相手の年齢や性別に関係なく嬉しくなる自分がある。ではどこが素敵なのか。やはり話していて話が弾む人だ。最近そんな高校生と出会った。相手が私をどう見ているか、は考えないことにしている。

### ◆ 今月の俳句 堀和光二郎メン (俳号 愚道)

#### ① ふるさとが売られてさびし木瓜の花

実家が売られ、いろいろな思い出とともに無くなってしまいました。父が50年前に植えた木瓜の花が満開の頃でしょうか。



#### ② 逝きし友桜も観ずに通夜の雨

シニアサークルの中心で活動していた友が亡くなりました。

#### ③ 思い出に浸りて春の成田山

子供の頃から父に連れられて、また大きくなってもお参りに来ていました。

\* 様々な奉仕活動に忙しい堀和メンですが、プリテンに毎月俳句を3句寄稿してくれる。なので今回は顔写真を掲載することにします。

### 今後の予定

- ・4月定例会の会場が未定です。第1候補は浦和パルコ内のさいたま市民活動サポートセンター。これからメンバーと相談します。
- ・関東東部 EMC ワークショップ  
日時: 4月6日(土) 14:00~17:00  
会場: 東京 YMCA 東陽町センター (会費) 500円

統計	出席	会員	ゲスト/ビジター
月例会 (3/16)	思い出会	5	
夜談会 (3/11)	8	4	4

### ワイズメンズクラブ とは

ワイズメンズクラブ国際協会 (Y's Men International) は国際青少年団体 YMCA を支援する社会人の奉仕運動。若者の自立と生き生きとした地域作りを目指す国際団体です。政治信条・性別・肩書きや年齢差に関係なく国内外の交流も進めています。埼玉クラブは1976年創立。浦和を拠点に活動しています。詳細は埼玉クラブ 浅羽まで。(090-7426-5553)